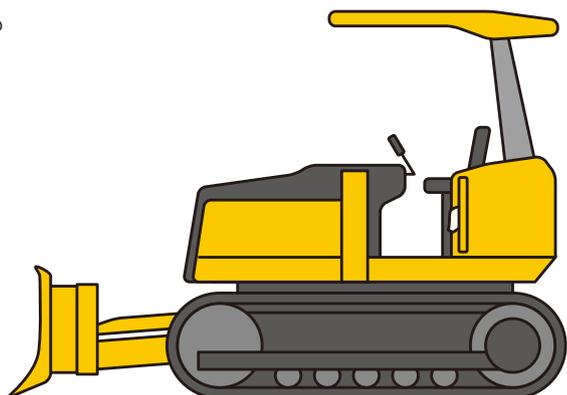


## 建設機械の基本と点検等

### (1) 主要建設機械の種類

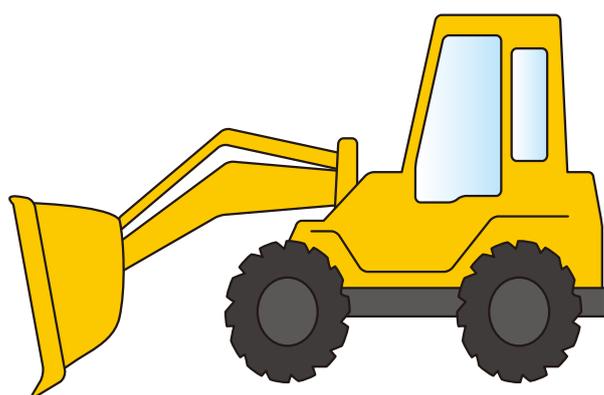
#### ①ブルドーザ

ブルドーザは、クローラ式のトラクタにブレードやリッパを付けたもので押土、整地及びリッピングによる固い地盤や岩石の破碎等に使用します。



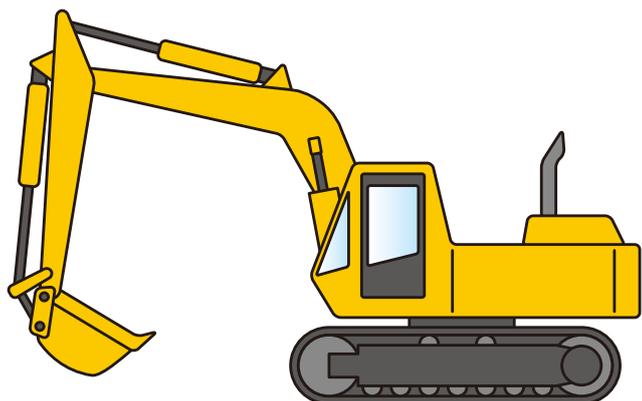
#### ②トラクタショベル(ホイール式)

ホイール式のトラクタにバケットを取り付けたもので、積込み、運搬、地表面の土砂の切り取り作業に使用します。



#### ③油圧ショベル(バックホウ)

油圧ショベルは、主として地表面より下の土の掘削に適しており、クローラ式とホイール式があります。



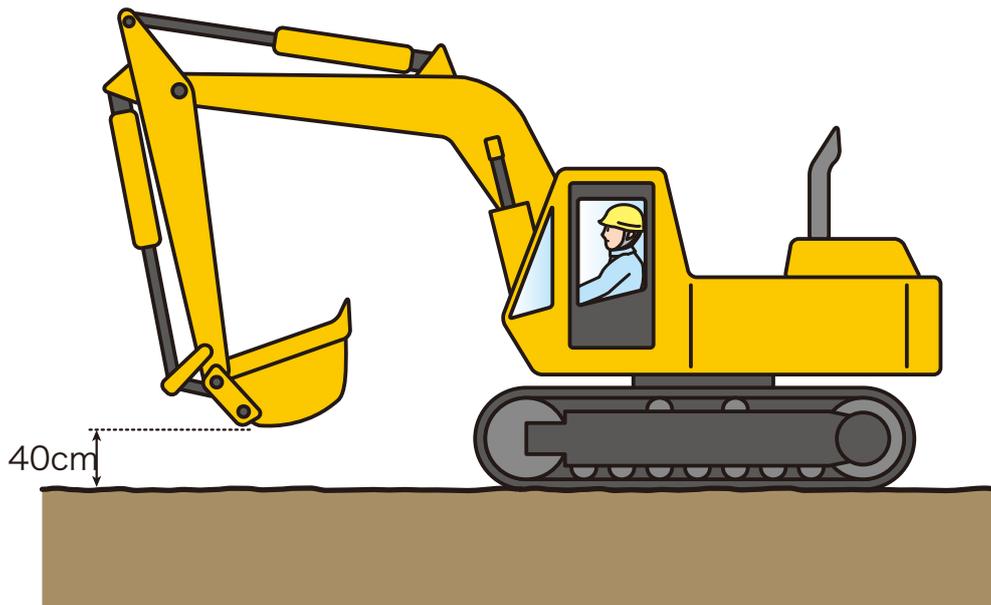
#### ④ローラ

土砂やアスファルト合材を締固める(転圧する)機械で、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラなどがあります。

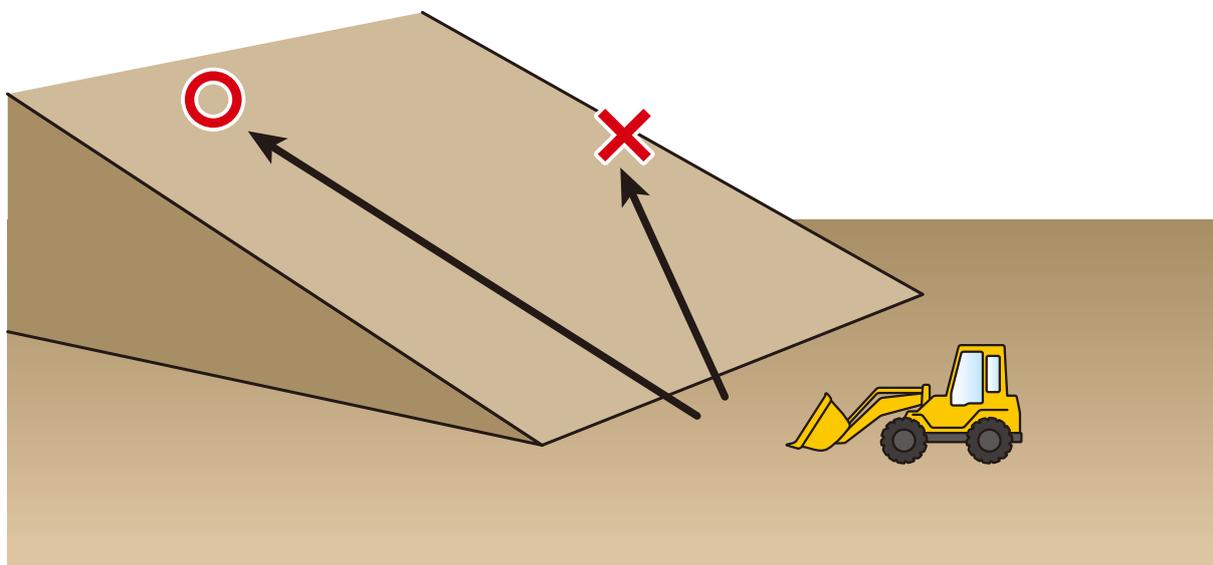


## (2) 安全運転の基本的心得 (その1)

- ① 機械を発進させるときは、周囲の安全をよく確認した後にエンジンを適切な回転数まで回転させ、作業装置を40cm程度上げます。

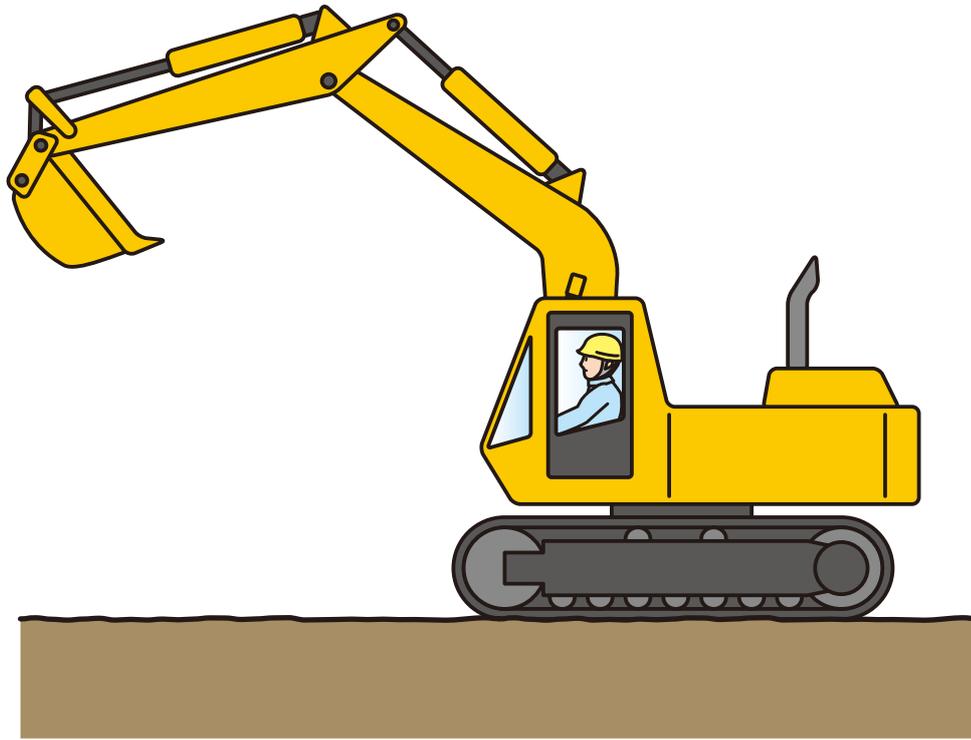


- ② 機械で坂を上り下りする場合は、できるだけ直進走行をします。また、傾斜面では転倒のおそれがあるので、方向転換をしないように心掛けましょう。特に谷側への旋回は注意が必要です。

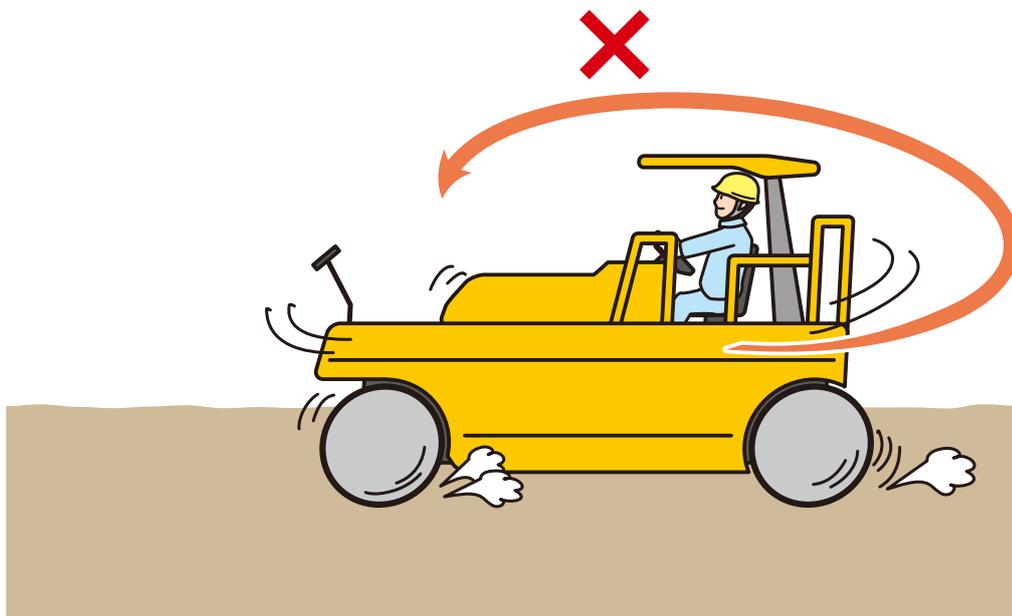


### (3) 安全運転の基本的心得 (その2)

- ③ バケットやブレード等の作業装置を高く上げると、機械の重心が高くなり、横転しやすくなります。

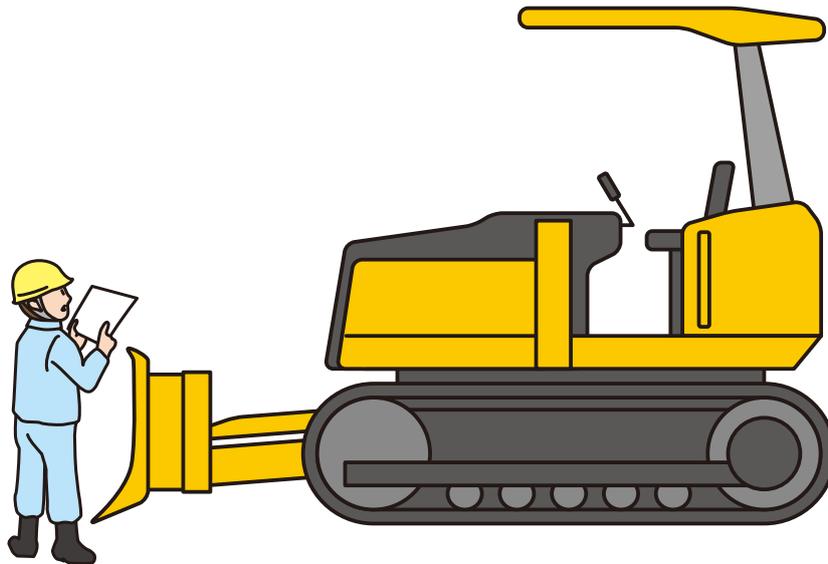


- ④ 走行時は急激な方向転換を避け、切返しを多くして方向転換を行います。

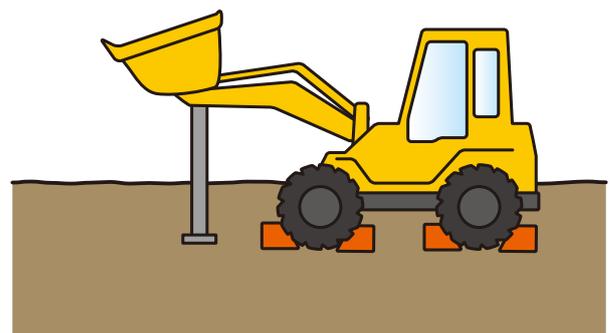


## (4) 点検の基本事項

- ① 建設機械を安全に効率よく動かすためには、点検、整備が必要です。

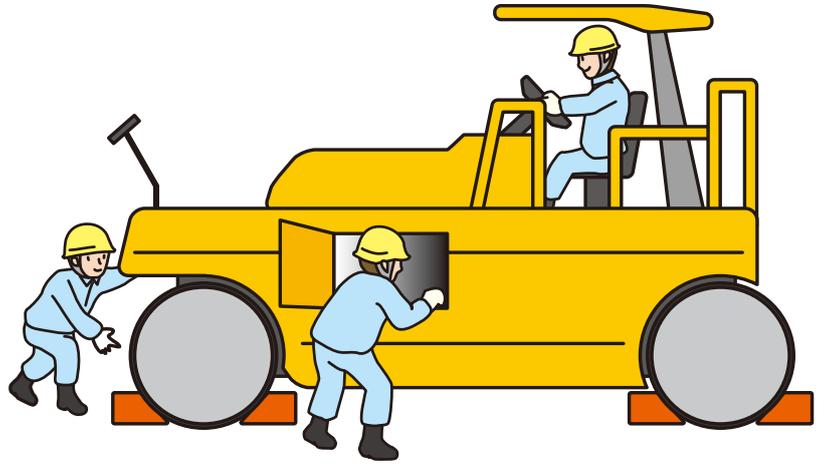


- ② 点検の時、ブレーキや安全ロックを掛けます。傾斜地での点検の時は、駐機ブレーキをかけ「歯止め」か「輪留め」をしましょう。また、バケットを上にあげて点検する時は、安全支柱で支えます。



## (5) 作業開始前点検

- ①その日乗務する機械の調子を確認するため運転前に作業開始前点検を実施して、不具合のない状態で作業に臨みましょう。



- ②作業開始前点検では、次の項目について点検します。

### 【行わなければならない点検】

- ・水漏れ、油漏れ
- ・冷却水の点検、補給 (右図)
- ・各部分の油量の点検、補給
- ・エンジンオイル等油脂類の点検、補給
- ・ブレーキ液の点検、補給
- ・燃料タンクの水抜き
- ・ファンベルトの張具合、調整
- ・タイヤの空気圧
- ・クローラの張り具合
- ・各部のボルト、ナットの緩み
- ・作動油タンクの油量の点検 (右図)
- ・安全確認用の補助設備 (ミラー等) の点検・調整



ラジエターが熱いときに、キャップを外すと、熱湯が吹き出すことがあるので注意しましょう。



## (6) エンジン始動後点検 (その1)

①エンジン始動後に必ず行わなければならない点検 (法令で決まっている点検) は、次の項目です。

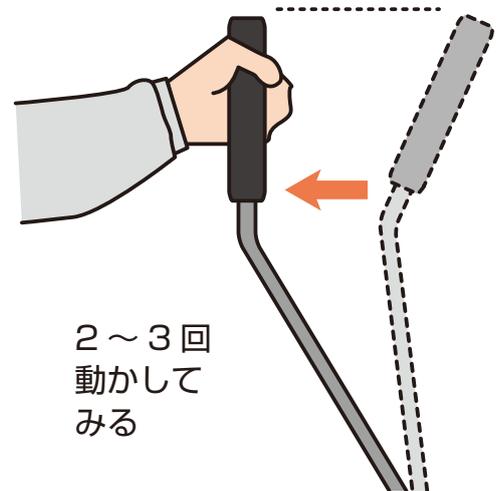
### ・ブレーキの機能

ブレーキペダルの遊びが大きくないか、ブレーキが十分効くか点検しましょう。

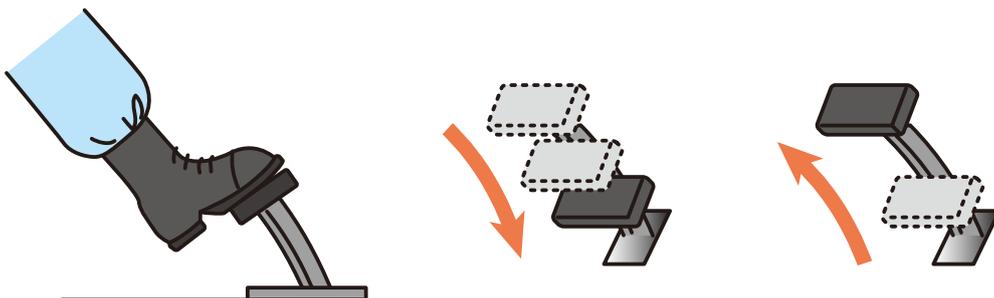


### ・クラッチの機能

メインクラッチペダル、レバーの遊び、操作力、ストロークを点検し、不具合なら取扱説明書により調整します。



2~3回踏込み、遊び戻り具合をみてみましょう



## (7) エンジン始動後点検 (その2)

②エンジン始動後の点検は次の項目について点検します。

### ・エンジンの調子

回転計やエンジン音  
を確認します。



### ・作業装置の作動点検

旋回動作、リフトアームやブーム、バケットなどがスムーズ  
に作動するか点検します。この場合周囲に人がいないか、障  
害物がないか確認して作業装置を操作します。



## (8) 作業終了時点検等

- ①安全な場所に止めて、作業装置を地面に下ろし、駐機ブレーキをかけた後にエンジンを止めます。



- ②エンジンをかけたまま燃料を補給してはいけません。また、たばこを吸いながら機械に燃料を補給してはいけません。

